



Preview

106

誠信プレビュー

目次		
〈崇高〉の聖地	愛蘭土紀行 (3) 桑島秀樹	3
Preview	読者の皆様へ	7
Review	「テキストに使える心理学入門」 に関する本	15

桑島 秀樹

〈崇高〉の聖地

——愛蘭土紀行(3) キャッシュエル

アイルランドの「聖地」といったら、まず挙げられるのは「タラ (Tara) の丘」であろう。「タラ」で思い出されるのは、『風と共に去りぬ』の主人公スカーレット・オハラの大団円のせりふ。「そうだ、明日、タラへ帰ろう」。ここでの「タラ」は、かつて幸せに暮らした米ジョージア州の大農園の名だ。物語の設定では、父親は19世紀の移民アイリッシュとなっている。じつは原作者 M・ミッチェル自身、父方にアイリッシュの血を引く南部出身の女流作家。だから、スカーレットの「タラ」を掘り下げれば、アイルランドの大地へとつながっていく。

タラの丘は、ダブリンから北西へ約 50 キロ、ミース州のほぼ中心に在る（標高 154m）。古代からの地方区分だとレンスターの北部、ポイン川流域の肥沃な東部三角帯のど真んなか。こんもりとした緑の丘がほこほこと続く。これらの多くは古代ケルト王たちの居館跡。そのうちの特別な存在が、「タラ」だ。王中の王たる「アード・リー（上王）」の玉座という。だが、王たちは中央集権を好まず、じっさいには便宜的な「上王」決定の儀礼場だったとも。そしてこの地はまた、5世紀にこの島に初めてキリスト教を伝えた聖パトリック（守護聖人）とも

かかわる。彼は「上王」を改宗させるため、並び立つ「スレインの丘」で火を焚く。怒ってやってきた上王に、聖人はシャムロック（三葉のクローバー）を手に、「三位一体」を説いたという。この逸話はあまりに有名だ。

* * *

アイルランドの聖地、わけても古代ケルトから初期キリスト教までを貫く、とびっきりの聖地は、「タラ」だけなのか？ 結論からいえば否だ。が、これに答えるのに一唐突だけれど一黒ビールに登場ねがおう。アイリッシュ・ビアといえば、スタウトの黒、「ギネス」(Guinness)。世界的に知られた銘柄だ。しかし、南部マンスター地方には、「マーフィーズ」(Murphy's)も、「ビーミッシュ」(Beamish)もある。ダブリンは支配層のグローバルイズム—アングロ臭さ！—に浸食されている。特有の濃密な味わいがあるのはマンスターのそれのみ、という人もいるくらい。コークを中心とする南部地方は、つねにカトリック=ナショナリストの巣窟で、独立運動の志士（映画『マイケル・コリンズ』）からIRAの過激分子まで輩出してきたお土地柄。ダブリン vs. コークとは、東京 vs. 大阪以上の差かもしれない（特に「北」が英領の今日、この「南北」の差は強く意識されよう）。「南部」には、実直で無骨な泥臭さと、それに根ざした矜持と活力が漲る。文化の古層きこに棹さす「反骨」「独立」の気風といってもよい。マーフィーズにもビーミッシュにも、そんな風土が融け込んだ独特の深いコクがある。そうして、ビール同様、「南部」を象徴する聖地が、ここマンスターには確固として存在するのだ。

* * *

ゴールウェイ（「〈崇高〉の聖地1」）で「常若の国」

に出遭った僕は、突風のなかアラン諸島を望む西の断崖「モハー」を体感し、次なる目的地へと向かった。いつものように、快活に疾駆するアイリッシュ・セッターが目印の長距離バスに揺られながら。右手に低く続く山並みを車窓から眺めては地図に眼を落とす。バスはノックミルダウン山地の山裾を西から東へと進む。崇高美学の祖エドモンド・バークの故郷「ブラックウォーター溪谷」（「〈崇高〉の聖地2」）は、山のちょうど向こう側だ。バスを溪谷古城の町、ティッペラリー州カーで乗り換え、こんどはマンスターの心臓部へと平原を北上する。

「ヘイ、マン。着いたぜ！」という運転手のことばに気おされ、バスを降りる。僕が降り立ったのは、アイルランド人にとって神聖で大切な場所。夏にはどっと観光客が訪れるらしいが、今は閑散としている。クリスマス休暇に旅をして気づかされたのは、敬虔なカトリックの多いこの国では、聖なる季節とは家庭でゆったりと祝うものだという事。だから大きなホテルでさえ閉店休業。これには、こまった。やっと見つけたアフリカ系移民の奥さんが切り盛りするB & Bを目指す。ドアの閉まった土産物屋の軒先を過ぎ、民家のあいだを抜けると、ティッペラリー平原のど真ん中に、ずどーんと屹立鎮座する岩塊が視界を覆った。やられた！あれが、「キャッセル岩城」(The Rock of Cashel) かあ！この巨大な岩山こそ、ケルトの古層にまで根を下ろすキリスト教聖地であり、同時に〈崇高〉の聖地である。

僕が「キャッセル」の存在を知ったのは、18世紀のコークが生んだ異能の画家ジェームズ・バリー (James

Barry, 1741-1806) を通してだ。この画家は、ロンドンに渡り、最後はアカデミーの絵画教授にまで昇りつめる。そして彼をアイルランドから連れ出したパトロンこそ、じつに同郷の青年政治家バークなのである。キャッシュェルにも聖パトリック伝説がある。画家バリーを有名にした初期作品の主題がそれだ(《聖パトリックによるキャッシュェル王の洗礼》1760-63)。この絵は、火災で損傷を受けているが、ダブリンに現存する(テレニューア・カレッジ蔵)。画面右手にいる洗礼者の錫杖が、左手にいる王の足先に突き立てられている。だがよく観ると、洗礼者も王も、のどかな戯画的表情で描かれている。もともとこの洗礼譚にはオチがついていて、突き立てられた杖も深い意味があると思い、王はずっと痛みに耐えていた、とのこと。なんと「南」の改宗は牧歌的なのか。あるいは、キリスト教など笑い飛ばす土俗の豪快さがあるというべきか。

キャッシュェルの聖人は、もうひとりのパトリック「マンスターの聖パトリック」だったとの説がある。じっさい5世紀の聖パトリックの遺構は、「北」のアーマーからタラにかけて、島の北半分に集中する。とすれば、キャッシュェルの聖人は、別の人物と考えるほうが理に適おう。奇しくも、古い巡礼路「聖デ克蘭の道」が、港町アードモアからここキャッシュェルまで延びている。また、この聖デ克蘭が、「北」のパトリックより古い聖人というのも興味深い。ビール同様、「南部」の古層は深く濃密だ。けだし、バークの時代、さらに、現代まで続く〈崇高〉の巡礼路もまた、そこに埋まっている。

〈完〉

(くわじま ひでき / 広島大学大学院准教授・美学)

読者の皆様へ

誠信書房出版案内

P

小社の出版物は全国の主要書店の店頭にてお求めいただけます。店頭がない場合には注文にてお取り寄せください。

直接送付をご希望の場合は、お名前ご住所（お届け先）、電話番号、ご注文の書名、冊数を明示のうえ、電話、FAX、e-mail (sei@seishinshobo.co.jp)にてお申し込みください。代金引換郵便にてお送りいたします。送料は1回につき一律200円です。お受け取りの際に代金（価格合計+消費税+送料）を郵便局係員にお支払いください。

公費でのご購入などで、代金引換郵便が不都合な場合には、ご一報ください。

小社の新刊書および既刊書は、インターネットのホームページでもご案内しておりますので、ご利用ください。

本誌をご希望の方は、直接小社にお申し付けください。定期的にお送り（無料）いたします。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-20-6

電話 03-3946-5666 Fax 03-3945-8880

<http://www.seishinshobo.co.jp>

2009年8月10日刊行

自然をデザインする

環境心理学からのアプローチ



R. カプラン・S. カプラン・R.L. ライアン 著
羽生和紀 監訳

自然環境が持つ回復のちからを、人間の認知機能とからめて解説したテキスト。緑の都市計画や公園の設計・管理から自宅のガーデニングまでを具体例に挙げ、200点を超える図版を用い、環境心理学の知見から導かれたパタン・ランゲージとして示している。身近な自然を、安全で安心感を与える癒しの環境にデザインする指針とアイデアを、本書は提供する。

第1部 本書について——人間と自然

- 1 パターンを使う
- 2 人間の特徴について

第2部 問題を解決する

- 3 恐怖感と好み
- 4 経路探索
- 5 回復環境

第3部 デザインと管理

- 6 出入り口と仕切り
- 7 歩道と移動
- 8 眺めや見晴らし
- 9 場所とその構成要素

第4部 人々の視点に立って

- 10 人々の関心を引きつける
- 11 全体を通じてのまとめ

付録 パターンとテーマのマトリックス

Rachel Kaplan：ミシガン大学自然資源・環境学部教授

Stephen Kaplan：ミシガン大学心理学部・電子工学部教授

Robert L. Ryan：マサチューセッツ大学ランドスケープアーキテクチャー・地域計画学部アシスタント・プロフェッサー

はにゅう かずのり：日本大学文理学部心理学科教授

B5判 158頁 / 定価 2520円（本体 2400円 + 税）

ISBN978-4-414-30622-4

2009年12月10日刊行予定

モノの意味

大切な物の心理学



M. チクセントミハイ・E. ロックバーグ=ハルトン 著
市川孝一・川浦康至 訳

人は物を作り、使う存在である。では、なぜ人は物を大切に
するのだろうか？ 著者らは、アメリカ・シカゴ在住の300人余
りの人びとに数年に渡って密着し、「最も大切にしている物」に
関する調査を行った。そこからは、物に対する態度が性別、年
齢、職業、階層によって異なること、そして、人の一生に強い
影響をあたえる「大切な物」の正体が明らかになっていく。
絶妙なアイデアと広範なフィールドワークによって、物と人の
あいだに隠された秘密を解明した、社会心理学の名著である。

はじめに

第I部

- 第1章 人間と物
- 第2章 物は何のためにあるか

第II部

- 第3章 家の中でもっとも大切にしている物
- 第4章 物との関係と自己発達
- 第5章 シンボル環境としての家庭
- 第6章 幸福な家庭の特徴

第III部

- 第7章 人と物との交流
- 第8章 家族生活の記号
- 第9章 意味と生存

付録

- A 調査の手続きとインタビューをするうえでの注意
- B インタビュー一覧表
- C カテゴリー分けと定義
- D その他・表

M. Csikszentmihalyi：クレアモント大学大学院教授

E. Rochberg-Halton：ノートルダム大学社会学教授

いちかわ こういち：明治大学文学部教授

かわうら やすゆき：東京経済大学コミュニケーション学部教授

A5判 404頁 / 定価 4830円 (本体 4600円 + 税)

ISBN978-4-414-30623-1

2009年9月10日刊行

傾聴カウンセリング

学校臨床編



古宮昇・福岡明子 著

スクールカウンセラーが直面する様々な対応場面を、学校組織との関わり方を中心に Q&A で解説する第Ⅰ部。転移・逆転移、投影、分離、抵抗など、精神分析的視点を踏まえた傾聴の本質を、7つの実際的な練習問題を用いて解説する第Ⅱ部で構成。カウンセリングの力量を高めるヒントが得られるとともに、学校臨床の現場を理解できる。

第Ⅰ部 スクールカウンセラーへの実践アドバイス

- Q1 ◆スクールカウンセラーの心がまえについて
- Q3 ◆学校種別のスクールカウンセリングの特徴について
- Q6 ◆面接予約が多くてパンクしそう……
- Q9 ◆カウンセリングに否定的な先生方へは
- Q11 ◆守秘義務の範囲はどの程度？
- Q12 ◆保護者に面接継続を拒否されたら
- Q14 ◆事件や問題行動で学校が困っているようだけど……
- Q15 ◆暴力的な生徒の面接を頼まれたら
- Q16 ◆思春期の男の子のカウンセリングが不安……
- Q18 ◆先生の転勤で相談システムが機能しなくなったら

第Ⅱ部 傾聴カウンセリングの実践

序章◆応答の練習

- 1章◆視線恐怖・対人恐怖を訴える高校一年生の男子
- 2章◆泣きじゃくって話すことができない中学二年生の女子
- 3章◆中学三年生の娘が大量服薬で病院に搬送された母親
- 4章◆担任の男の先生が好きという高校一年生の女子
- 5章◆学校に行かせようとすると大暴れする小学三年生女兒の母親
- 6章◆彼からの大量メールで夜も寝られないという高校二年生の女子
- 7章◆不登校の小学校六年生男児の担任である五十代の男性教諭

こみや のぼる：大阪経済大学人間科学部教授、臨床心理士

ふくおか てるこ：大阪府・大阪市公立学校スクールカウンセラー、臨床心理士

四六判 206頁 / 定価 1890円（本体 1800円＋税）

ISBN978-4-414-40367-1

2009年9月20日刊行

星と波描画テスト

基礎と臨床的応用



香月菜々子 著

本テストは、「描いていて楽しい」「テーマが新鮮」「患者さんへの負担が小さく実行しやすい」といった利点がある。本書の目的は、このテストが、《診断的側面》だけでなく、治療者と患者の関係性・コミュニケーションを支える《治療的側面》を同時に担っているという特性を踏まえ、心理臨床の個人面接の場に取り入れ、活用することが可能であるかについて検討を行い、明らかにすることである。

第Ⅰ部 描くということ

《描くこと》の原点から《星と波描画テスト》へ

第1章 《絵を描く》ということ—臨床場面における描画の有効性

第2章 概説 第3章 心理臨床の実際

第Ⅱ部 基礎的研究

パート1 パーソナリティ・テストとしての性質の検討

第4章 独自性の検討—口・テストとの比較を通じて

パート2 描画表現の特徴

第5章 青年期・成人期初期の描画表現の特徴—健常群と臨床群の比較

第6章 老年期の描画表現の特徴—アルツハイマー病の認知症患者を中心に

パート3 読み取りのための解釈指標の開発

第7章 S D法による印象評定尺度の作成(1)—熟練者の着目点について

第8章 S D法による印象評定尺度の作成(2)—再検査信頼性、および星と波描画テストの解釈指標の検討

第Ⅲ部 臨床場面における実際

第9章 面接導入期での使用について—インタビュー面接の場面に

第10章 面接過程における使用について—フォローアップ・ツールとしての働きを中心に

第11章 精神的不調の“回復サイン”について

かつき ななこ：上智大学総合人間科学部心理学科特別研究員

A5判 332頁 / 定価 3990円 (本体 3800円 + 税)

ISBN978-4-414-40052-6

箱庭による認知物語療法

自分で読み解くイメージ表現

大前玲子 著

一般に箱庭療法では、そこに現れるイメージ表現を重視し、箱庭の作品からクライアントが抱える心理的な問題を積極的に言語化させることはしない。しかし、ここで用いる技法は、箱庭療法に導入された認知・物語アプローチの過程を経てクライアントの内面を言語化する方法で、そのように心理的課題を意識化することがクライアントの心と行動の変化につながることを、七つの事例を通して示している。

第1章 理論編：技法と発展過程

- 第1節 認知物語療法とは
- 第2節 認知物語療法の歴史的背景
- 第3節 イメージ表現と認知療法

第2章 認知物語療法の実際

- 第1節 認知物語療法の目的
- 第2節 認知物語療法の方法

第3章 事例編：箱庭療法に認知・物語アプローチを導入した適用例

- 第1節 ケース A
……
- 第7節 ケース G
- 第8節 心のモデル図

第4章 考察：自分で読み解くイメージ表現

- 第1節 総合考察
- 第2節 認知療法の観点から箱庭作品を扱う意義
- 第3節 従来の認知療法との比較
- 第4節 この方法の有用性

第5章 まとめ

おおまえ れいこ：大阪大学大学院人間科学研究科助教，臨床心理士

A5判 222頁 / 予価 3360円（本体 3200円＋税）

ISBN978-4-414-40054-0

2009年8月10日刊行

新・臨床心理士になる ために [平成21年版]



(財)日本臨床心理士資格認定協会 監修

臨床心理士の資格取得を目指す人のための資格取得ガイド。平成20年度・平成19年度の筆記試験問題（抜粋）の公開とその正答と解説を加え、どのような専門性が求められているかを示す。

A5判 198頁 / 定価 1470円（本体 1400円 + 税）

ISBN978-4-414-40051-9

2009年9月20日刊行

心の専門家が 法律 [第3版]

臨床実践のために



佐藤進 監修 津川律子・元永拓郎 編

心理臨床やメンタルヘルスサービスにかかわる心の専門家に向けて、業務のなかで出会う法律に関し、心の専門家自身が紹介した書。今回の改訂では、新しく制定された自殺対策基本法の章を設けたほか、改正となった教育基本法や児童虐待防止法、労働安全衛生法、DV防止法などについて記述を改めた。また、新たに障害者自立支援法や裁判員制度との関連についても触れている。なお、こうした心の支援の法的枠組みを整理する意味で、関連する法律を四部門に分けたことも今版の特徴である。

さとう すすむ：元新潟青陵大学学長・同名誉教授，法学博士

つがわ りつこ：日本大学文理学部心理学科教授，日本臨床心理士会副会長

もとなが たくろう：帝京大学大学院准教授，日本精神衛生学会常任理事

A5判 286頁 / 定価 2625円（本体 2500円 + 税）

ISBN978-4-414-40053-3

2010年1月中旬刊行予定

イラストレート心理学入門

[第2版]

齊藤 勇 著

むずかしい心理学の理論を領域ごとに整理し、わかりやすく解説した入門書としてのロングセラーの改訂版。入門的な内容は踏襲しつつ、人間関係や組織などの社会心理学、スクールカウンセラーなど近年注目されている臨床心理学の2章分を新たに追加した。また、様々な実験のトピックスも、25点追加。心理学についてオールラウンドな知識を身につけることができる。

第1章 知覚と認知の心理

1 外の世界を知る 2 感覚器官 3 知覚特性

第2章 感情と情緒の心理

1 感情の重要性 2 情緒という感情 3 情緒生起のメカニズム

第3章 欲求と動機の心理

1 生理的欲求 2 心理的欲求 3 フラストレーション

第4章 学習と記憶の心理

1 学習 2 記憶 3 記憶の現代社会的問題

第5章 性格と臨床の心理

1 性格の心理 2 臨床心理 3 代表的心理療法 4 性格検査法

第6章 無意識と深層の心理

1 フロイトの精神分析 2 アドラーとユング

第7章 発達と成長の心理

1 誕生から青年期まで 2 成人以降

第8章 自己と対人の心理

1 自己意識と対人行動 2 自己評価と対人行動
3 第一印象と自己呈示 4 好意と対人魅力

第9章 社会と組織の心理

1 援助の心理と行動 2 支配と服従の心理
3 攻撃的行動 4 同調行動 5 意見変容の二つのルート
6 行動による意見の変化

さいとう いさむ：立正大学心理学部教授

A5判 214頁 / 定価 1575円 (本体 1500円 + 税)

ISBN978-4-414-30172-4

レビュー誠信書房出版案内

R

テーマ

「テキストに使える心理学入門」に関する本

2005 年刊行

図説 心理学入門 [第2版]

齊藤 勇 編

はじめて心理学を学ぶ人のために、心理学全般についての基本的な知識が得られるように、ビジュアルにわかりやすく説明した入門書。

A5 判 268 頁 / 定価 1890 円 (本体 1800 円 + 税)

ISBN978-4-414-30163-2

2006 年刊行

イラストレート恋愛心理学

出会いから親密な関係へ

齊藤 勇 編著

恋愛における人間関係の心理について、実証的研究をまとめた概論書。異性の心理や行動などについて、イラストを入れ豊富な社会心理学のトピックスでコンパクトに読みやすく紹介。

A5 判 198 頁 / 定価 1785 円 (本体 1700 円 + 税)

ISBN978-4-414-30165-6

2007 年刊行

人間関係の心理学 [第2版]

齊藤 勇 編著

好きや嫌いの対人感情、援助行動や攻撃行動、性格と人間関係など、社会心理学のなかから人間関係の心理に焦点をあて、著名な実験 103 項目をトピックスとして紹介しながら解説。

A5 判 250 頁 / 定価 2310 円 (本体 2200 円 + 税)

ISBN978-4-414-30168-7

seishin preview 106
2009年11月30日発行

株式会社 誠信書房
〒112-0012
東京都文京区大塚 3-20-6
電話 03-3946-5666
FAX 03-3945-8880
<http://www.seishinshobo.co.jp/>

Paper: グラフイーエコ